



令和4年5月号

「いつまでに出来れば良いの？」

4月から狭山市に就労継続支援B型事業所のDesignBaseが開所致しました。SDGs・社会貢献・地域貢献を大きな柱として、地域の工務店から建築廃材として木材を頂き、積み木やネームプレートなどに加工をして、児童施設や高齢者施設、個人に販売をしております。

今年度は、1名新卒でDesignBaseを利用している方がいらっしゃいます。私とは小学校6年生からの関わりになり、今回は卒業のタイミングで開所が出来たので、これからも継続して支援が出来る事になりました。今までは、学生として放デイで関わっていた方と社会人として接していると、感慨深いものがあり不思議な感情になっています。就労の場ではありますが、これまでの支援で積み上げてきた事を継続していきながら、様々な部分での成長を目指して一緒に歩んでいければと思っています。

私たちは子ども達の成長を見る時に、生活や仕事などで必要になる様々な力を身に付ける為に、どの様な道筋を進めて行くかの見通しを立てて行きます。その時に、まずは仮のゴール地点を決めて行くのですが、必ず余裕を持って設定をする様にしています。一般的には学校の卒業など節目を目標に持って行く事が多いかと思いますが、子どもの成長と卒業までの期間によっては、時間的な余裕が無く焦ってしまう結果になります。また、子どもの成長段階によっては、その取り組み自体が早すぎた結果上手く行かない事も…何をするにもタイミングは大切ですね。

それと共に、私たち支援者やご家族が「今そこに向き合えるのか」も重要になります。向き合う為の余裕や時間が無い為に、取り組みが中途半端になってしまっただけでは効果がありません。取り組みを進めていく中では、家庭や学校・事業所との連携も必要になるでしょう。

大切な事は「～までにやらねばならない」ではなく「～までに出来たら良いな」くらいの気持ちで向き合っていく事かもしれません。

子どもの成長は家庭・学校・事業所・習い事など様々な場面での働きかけを通じて育まれて行きます。しかし、その時に大まかなゴール地点と期間をそれぞれが共有する事で、相乗効果が高まり成長に繋がります。子どもとの関わりや成長について何かお困りの事があれば一緒に考えて行きたいと思いますので、いつでも事業所へご相談下さい！

児童通所課 嵯峨憲司



MJバザー

寄付していただいた商品や、MJで制作したハンドメイド商品を販売いたしました。子ども達から「楽しかった、またやりたい」とお声をいただきました。



進学・入学・卒業 パーティー

ミニゲームや小さな出し物を行い、他の曜日の子ども達と交流を行いました。職員がマジックを見せると、自分から他の子に出し物を見せに出てきてくれる子もいました。MJを卒業される子には花束を贈呈させて頂きました。

MJバザーの為に商品を寄贈して頂きました。
スタディサポートMJ入間の運営にご協力・ご理解いただきましてありがとうございました。

4月29日(金)祝日プログラム

青梅市鉄道公園に出掛けます。

コロナの状況によっては企画が変わりますのでご了承ください。

今年度も引き続き宜しくお願い致します。 MJ入間職員一同